



川染雅嗣 ピアノリサイタル

in アルテピアッツァ美唄 Vol.Ⅱ

2020 **9.13** sun.

開場 13:15～

開演 14:00～(16:00終演予定)

会場

安田侃彫刻美術館
アルテピアッツァ美唄
KAN YASUDA SCULPTURE MUSEUM ARTE PIAZZA BIBAI

アートスペース
北海道美唄市落合町栄町
TEL 0126-63-3137

チケット
取扱い

札幌市民交流プラザ2階チケットセンター
道新プレイガイド
アルテピアッツァ美唄ギャラリー
美唄市民会館
ギャラリーよしおか

入場料

一般 2,000円(当日 2,500円)
中学生以下 500円
全席自由

お問合せ:090-2076-0487 (栃原)

主催:川染雅嗣ピアノリサイタル実行委員会

後援:美唄市、美唄市教育委員会、昭和音楽大学、北海道ポーランド文化協会、日本アレンスキー協会、
美唄市民合唱団、NPO法人アルテピアッツァびばい、北海道新聞社岩見沢総局、プレス空知

Photo by Keiji Kojima

川染雅嗣 ピアノリサイタル in アルテピアッツァ美唄 Vol.Ⅱ

プログラム ベートーヴェン 生誕250年・ショパン 生誕210年

第1部 ベートーヴェンの世界

ルートヴィヒ・ファン・ベートーヴェン

- ・ソナタ 嬰ハ短調 作品27-2 <月光>
- ・4手のためのソナタ ニ長調 作品6
- ・ソナタ ハ短調 作品13 <悲愴>

～ 休憩 ～

第2部 ショパンの世界

フリデリク・フランチシェク・ショパン

- ・2つの夜想曲 作品27 No.1 嬰ハ短調 No.2 変ニ長調
- ・ムーアの民謡的テーマによる変奏曲 ニ長調(4手連弾)
- ・スケルツォ 第2番 変ロ短調 作品31
- ・バラード 第4番 ヘ短調 作品52

連弾客演 栃原享子

交通アクセス



Photo by Keiji Kojima

安田侃彫刻美術館 アルテピアッツァ美唄

KAN YASUDA SCULPTURE MUSEUM ARTE PIAZZA BIBAI

北海道美唄市落合町栄町
TEL・FAX 0126-63-3137

電車：JR函館本線利用で
札幌より35分。美唄駅下車、
市民バス東線「アルテピアッツァ美唄」
行き乗車。または、
美唄駅東口よりタクシー10分。
車：道央自動車道利用で札幌JCTより35分。
美唄ICより右折、5分。駐車場有り。

<http://www.artepiazza.jp/>



川染 雅嗣
かわそめ まさし

北見市生まれ。4歳よりピアノを始める。1978年東京藝術大学音楽学部器楽科ピアノ専攻卒業。在学中第24回文化放送音楽賞ピアノ部門において「音楽賞」を受賞する。同年8月ポーランド国立ワルシャワ音楽院(現ショパン音楽院)に留学。1980年10月、第10回ショパン国際ピアノコンクールに出場し、ディプロマを授与される。ポーランド滞在中はワルシャワをはじめ各地でリサイタルを開き、好評を博する。帰国後1981年5月の「帰国記念リサイタル」を皮切りに、数多くの演奏会に出演する。また、1999年より2010年まで青森県鮎川町<あじがさわミュージックフェスティバル(略称amf)>の、2011年から18年まではイカール国際室内楽アカデミーのディレクターを務める。

著書として「明解ピアノ上達法」(ショパン刊)「ショパンピアノ作品辞典」(共著・ドレミ楽譜出版社刊)がある。2010年3月CD「遠い思い出のあなたに」をリリースしている。

近年はホールでのコンサートよりもサロンなどの小空間にその活動の中心を移しており、聴衆とのコミュニケーションを大切にされたコンサート作りを心がけている。また、2009年に日本アレンスキー協会を札幌に設立し、帝政ロシア末期の知られざる名曲の発掘と紹介に努めている。また一方で、ピアノの歴史とピアノ作品の関係を解き明かす講座を、各地で開催している。その活動は、北は北海道から南は沖縄まで広範囲に亘っている。なお、2016、17年には香港沖縄交流チャレンジコンクールの審査員を、2019年には第40回沖縄ピアノコンクールの特別審査員を務めている。

現在、昭和音楽大学特任教授、日本アレンスキー協会会長、北海道ポーランド文化協会及び麻生区文化協会各会員、(一社)全日本ピアノ指導者協会正会員、(公財)日本ピアノ教育連盟一般会員、大和市文化芸術振興審議会委員。

栃原 享子 とち原 きょうこ

美唄市出身。札幌大谷短期大学音楽科卒業、専攻科・研究科修了。

これまでに「林峰男チェロリサイタル」「リン・ブルックナー室内楽演奏会」など独奏やアンサンブルで出演。2006年ピアノ協奏曲の夕べにて札幌交響楽団と共演。

2010年ピアノリサイタル開催。近年は「五感を超越して楽しむ会」にてピアノと陶芸やお料理とのコラボレーションに参加。また、震災チャリティコンサートや病院・福祉施設への訪問演奏も行う。現在、日本アレンスキー協会会員、美唄市民合唱団指導者。



会場内には、スリッパ・消毒液の用意はございますが、可能な方は、上履きのご持参をお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症に関する会場の対応について 当日会場では以下の対策を徹底してまいります。

- 1.アルコール消毒液の設置
 - 2.館内消毒・換気・広めの席配置
 - 3.スタッフの検温・マスクの着用
- ご来場時は、マスク着用、ハンカチなどで口や鼻を覆うなどの咳エチケットへのご協力をお願いいたします。